

# 香美市教育委員会定例会会議録

(令和3年5月26日)

招集年月日 令和3年5月19日(水)  
招集場所 香美市本庁舎 3階 会議室2  
会議の日時 令和3年5月26日(水) 午前9時30分  
出席者 白川 景子 宮地 憲一 西 美紀 浜田 正彦 小松 清貴  
欠席者 なし

## 説明のための会議出席者

教育次長	秋月 建樹
教育振興課長	公文 薫
生涯学習振興課長	黍原 美貴子
教育振興課学校教育班主監	明石 芳文
教育振興課学校教育班指導主任	山下 由紀子
教育振興課学校教育班長	一圓 まどか
教育振興課総務係長	大峯 啓之
教育振興課幼保支援班長	小松 幸春
生涯学習振興課少年育成センター副所長	伊井 英智
土佐山田学校給食センター副所長	野村 智穂

## 職務のための会議出席者

### 会議録署名委員

浜田委員

### 傍聴人氏名

なし

(開会時刻 午前9時30分)

教育長

皆様、おはようございます。それでは、ただ今から、令和3年5月香美市教育委員会定例会を開催いたします。私のほうで運営を進めさせていただきます。白川景子と申します。よろしくお願いをいたします。

本日の追加議案は1件になっておりまして、議案の差し替えが2件ございます。第1号議案と4号議案の差し替えということで、最初に資料の確認をお願いいたします。

そして、私の少し自己紹介をさせていただきたいと思いますが、お構いなしでしょうか。

本日着任をいたしました白川景子です。どうぞよろしくお願いをいたします。何分にも不慣れでございますので、皆様方のお力添えをいただいて、香美市の教育をみんなが幸せに、生涯学び続ける町として更に発展させていけるよう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、事務局のほうから。

前回の議事録の訂正等ございますか。ご意見等ございましたら、よろしくお願います。

ございませんか。それでは「無し」ということで、ご了解いただきました。

議案第1号をよろしくお願います。

議案第1号「香美市立香長小学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局

(議案説明)

教育長

意見やご質問等ございませんでしょうか。

浜田委員

住所に香美市の表記がある方と無い方があります。

事務局

そうですね、「香美市」が抜けてしまっているので、また訂正をさせていただきます。ありがとうございます。

教育長

どうぞよろしくお願います。承認をいたします。

それでは、第2号議案に移ります。よろしくお願います。

議案第2号「香美市立大宮小学校・香北中学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 提案理由等同様のようにございますが、いかがでしょうか。では、承認をいたします。  
議案第3号、よろしく申し上げます。

議案第3号「香美市立楠目小学校学校運営協議会委員の委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 同様でございますが、いかがでしょうか。じゃあ、承認をいたします。  
それでは、議案第4号に移りたいと思います。

議案第4号「香美市人権広報委員会委員の辞任について」

事務局 (議案説明)

教育長 提案理由のとおりでございますが、いかがでしょうか。承認をいたします。  
議案第5号、よろしく申し上げます。

議案第5号「香美市少年育成センター運営協議会委員の退任及び委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 提案理由のとおりでございますが、いかがでしょうか。承認をいたします。  
議案第6号、よろしく願いいたします。

議案第6号「通学区域(校区)外通学について」

事務局 (議案第6号は、非公開案件審議)

教育長 それでは承認ということで、ありがとうございます。  
議案第7号、よろしく申し上げます。

議案第7号「香美市教育振興基本計画推進委員の委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 いかがでしょうか。承認をいたします。  
議案第8号、よろしく申し上げます。

議案第8号「令和2年度香美市教育委員会施策に関する点検・評価委員の委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 いかがでしょうか。

宮地委員 この案については私異議が無いですが、その件に関して学校評価をした後、それがどのように学校の経営や運営に反映しているかというのが、誰か分かる人はおりませんか。

というのは、今いろいろ校長先生方も県のほうからもいろいろ出してきた、今後、PDCAはきちっとやっていくわけですけど、それとこの学校評価との関連性と言いますか、これも随分県が言う前から学校評価というのはそれぞれやっていますけれど、それがどう学校に反映されているのかなってところなんですけど。

明石主監 各学校が評議委員さんからいただいたものを、再度それぞれの各部会に下ろして、それぞれPDCAを回るよという形で、具体的な案まで考えて、計画実施という形で、改善には活かされているようには思いますけれども。まあ、そこに書かれている部分がなかなか抽象的な部分もありますので、なかなかそれが一つ、すぐに改善という部分には至っていないようには思いますが、出来るだけいただいたご意見に反映するように、各学校で話し合いを持ってPDCAを取り組んでいます。

宮地委員 だから、2つになっているんですね、だからこう1つにまとめるとか、同じようなものだったら、1つに出来んのかなと前から思ってます。今は県が事細かくやっぱり指標を出してきて、それに対して学校はどう経営していくかって、かなり細かくなりますよね。それとこちらはどう関連性があるのか、同じものやったら、1つには出来ないもんかなあと、ちょっとでも働き方改革に関連してきますので、去年辺りからそんなことをちょっと思ってたことです。直接の委嘱については、異存ありません。

浜田委員 制度的のものとして、自分も把握は十分してないんですけど。ただ、これはしなさいということで国から、文科省から来て、県が各教育委員会へ下ろしてきたわけですね。それで学校はそれを受けて、学校で中間評価とか最終評価をされてるわけですね。まあ、それは自分たちの内部点検にもなるので、それをやることは悪いことではないけど、負担になっていることは事実だと思う。けれど計画があって、こういうことやりますよと。結果的に学校運営協議会のほうにもそれを、昔は評価委員さんと学校運営協議会は別やったんですけど、今は評価委員イコール学校運営協議会のメンバーになっていますから、メンバーが書き直したのを評価して、福石先生言うか、第三者評価委員になるわけですね。それで、宮地先生が言うのは、学校が最終的に教育委員会に出してきますよね、評価者の意見を取り入れて。それと、福石教授の評価と、どういうふうな繋がりがあるんですかという質問で、理解してよろしいんですかね。

宮地委員 そうです。だから、こう重なってる分やったら1つに出来るのかなあとって。というのは、私も学校評価制度が出来た時に文科省の学校評価委員だったんです。1年間それをちょっと調査研究させてもらって、かなり細かいことがありまして、今やってることとかなりこうダブる分があっておれば、なんかうまく1つにしたら、学校のほうも助かるんだなあとって、そういう学校の負担軽減になればと思ったんですね。

明石主監 学校評価とこれはダブってないです。逆にそれが少し問題かもしれません。やはり学校評価も評価委員さんにも見せてない部分もありますので、そういったことで、少しそのご意見も考慮していただいて、そういった部分も話し合いの中には入れていかなくてはいけないなとは思っています。

宮地委員 もし仮にそれで、別々の負担がある意味であれば、評価項目をうまくマッチングして、負担軽減を図るような方法が出来ないかなあとって思う。

浜田委員 ただ1つ言えることは、自己点検の部分から考えると、福石先生が第三者評価しても、あまり私は現場を知らない人間が、現場の意見、目的に対して、確かに専門的見地からは言える部分があるかもしれないけど、それはどこの、各学校、香美市に小中学校が10校あるわけですけど、特色あるのは全部それぞれ違うように、評価を彼は出来ないと思うんですね。だから、出来れば、学校の先生そのものは、最終系はやらなくてはいけないということであれば、もう負担増にはならないけど、逆に福石先生そのものは、それをまとめて1つにした場合に、大変

にはなると思う。まあそれに対して対価を支払ってれば、別段何を言ってもいいんですが。けれど結果的に、どういうふうに点検して評価していくかということにおいて、それが次のアクションにどう生かされていくかということは、基本的に一緒でしょうけど、ちょっと評価・点検の中身が違うようなと思います。

宮地委員 本来学校評価っていう趣旨は、かなり事細かく分類されていて、それをA、B、Cずっと付けていって総合判定していくわけですけど。それを、どうなのか、本当に少し研究して、あまり最近いろんな評価って沢山ありますのでね、なんか1つにまとめることが出来れば、負担軽減になるかな。なんかそういった研究もちょっとしてみたらいかがでしょうかね、私これ提案です。

浜田委員 私もそう思います。評価疲れやないけど、それを次のものに生かされた覚えは、自分自身もやりながら。なにかが起きた時はそれを見ながら、次の行動へ移すわけやけど、何にも無ければ例年どおりという感じのところもありますので、出来るだけ軽減してあげたら、出来るところは。

宮地委員 ちなみに、私が文科省の学校評価委員だった時は、大体3日、4日缶詰でしたね。学校へ全部入って、校長先生の面接から全部入ってですね、1人1人の先生も全部面接してやっていますから、物凄く大変やったし、それから学校も大変やった。だからこんなこと駄目だって、結局文科省にみんなが言ったんです。こんなことしたら学校がもうたまらん。結局それでやまったんですよ、国のほうがね。

教育長 評価のための評価にならない為に、よりよいやっぱりデータがある、それを基に改善を図っていくということが基本だと思いますので、それをいただくと学校としても非常に有難いだろうと思いますから、そういったところを再度研究して、香美市の場合は探究と、それから小中一貫、保・幼・小・中・高、大が一貫という特色があるわけでございますので、その時点から学校全体を評価するというような表わし方も、学校にいたらなかなか出来ない部分もありますので、そういったところをご助言いただけるような評価となるような研究を、また教育委員さん方のお知恵もお借りしながら、一緒に進めていくということではないかというふうに先生方のご意見を伺って思いましたが、議案の内容については、特に異議はございませんでしたが、研究を更に深めて、先生方の負担軽減となり、先ほど申し上げました2点が、一層充実する教育を進める為にとということで、研究を共に進めてまいりたいというふうに思います。よろしく願います。

明石主監 貴重なご意見ありがとうございました。ご指摘されますように、学校評価に関しましては、学校評議委員会のメンバーの中で、全員ではないところもありますし、それから、その中で何名かを選んでということもあって、やや少し学校評議委員さんっていう、いわば学校の運営に関して意見を言って、自分達も一緒にやる立場の方が、自分達のやってるものを評価するみたいな形になって、ちょっとこれもねえ、少し問題というか、便宜上幾つも会が重ならないようにという形で、現在はそういうふうな形を取らせていただいているんですが、やはり立てりから言って妙におかしいなというところもあるかなというふうな感じは持っております。

ただ、そこでいただいたそれぞれのPDCAのご意見を、この教育振興基本計画のほうの福石先生のほうには全然提供しておりません。私たち事務局が、そういった学校から上がってきたものを基にして、それぞれの事業、それぞれ取り組みを評価したものを見ていただいているという状況ですので、直接的にはそういった現場の生ということはないですけれども、そういった評価をご覧にはなられてないというのが実情ですので、またそれも問題かなとは思っていますので、それと、そのまた逆もあります。私たちがこういったことで評価を受けていることを現場は知らないということもありますので、ちょっとそういった部分がしっかりと連携して、大きな施策と反映できるように、今後研究を進めたいと思います。ありがとうございました。

教育長 よろしくお願ひいたします。

浜田委員 細かいことですが、役職のところは高知工科大学教授、「教職課程」というのは単なる共通教育の中の一つの過程であって、もしこれを表わしたいやったら、括弧で教授の後へ付けたほうがいいです。

事務局 分かりました。

教育長 ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。  
よろしいでしょうか。じゃあ、承認をいたします。  
それでは、追加議案に移ります。  
議案第9号、よろしくお願ひします。

議案第9号「香美市立学校給食センター運営委員会委員の退任及び委嘱について」

事務局 (議案説明)

教育長 どうでしょうか。それでは、承認よろしくお願ひいたします。

教育長 最後に、教育長職務代理者の選任について

協議の結果、教育長職務代理者は、宮地委員に決定した。

以上で、本日提出をしていただいた議案は、ご意見をいただいて反映させていくということで終了いたしました。どうもありがとうございました。その他の件に移りたいと思います

(閉会時刻：午前10時2分)